

# 3月のまちの話題

## 「気がついたら百歳になっていたよ」

不屈の精神で百歳

茶木清治さん

(表町)の紀寿を祝う

明治三十五年に生まれ、三月五日で満百歳を迎えた茶木清治さんの紀寿を祝う会(発起人代表・藤原正幸さん)が三月二十日、総合福祉センターで行われ、宮坂町長や河村町議会議長をはじめ親戚、友人など約五十人が茶木さんの大きな人生の節目を祝いました。宮坂町長が「明治から四つの元号を生き抜いてこられたことに、お祝いとともに深く敬意を表します。百歳になられてもいままなお原付バイクを運転されるなど矍鑠とされている茶木さんにテレビ番組に出演し、全国にその元気さと厚真をPRしてもらいたい」と祝辞。茶木さんは「苦しい時代もあったが不屈の精神で頑張った。七十七歳から始めたゲートボールやカラオケを楽しんでいるので歳をとっている暇がない。気がついたら百歳だよ」と会場に詰め掛けた方々にそう話していました。



あいさつをする100歳になお矍鑠な茶木さん

## 思い出に残る給食を 略式テーブルマナー会食 厚真中で



学校給食センター職員に給仕される生徒たち

町学校給食センターでは、卒業にあたり思い出に残る学校給食の取り組みをしようと三月六日、厚真中学校(濱口明雄校長)で略式テーブルマナー会食を行いました。昨年に引き続き二回目となる同会食は、前菜から始まりスープ、魚料理、肉料理、デザートへと続く本格的なもので、同センター職員が生徒一人一人にサーブ。田代優乃さんは「厚真の給食は私たちが小学校一年生の平成十二年五月から始まりました。卒業するとこのおいしい給食を食べられなくなるのが残念です。今日の会食は緊張したけど記念になりました」と話し、周りの生徒たちと会話を楽しみながら給食を味わっていました。

## 子どもの自尊心を高めることは親の仕事

町発達支援センターが3月11日、総合ケアセンターゆくりで「第4回あったかハートのつどい」を行い、40人の参加者が心理士による講演やグループワークで、子どもたちの健やかな心の成長に理解を深めました。今回のテーマは「セルフエスティーム」で日本語訳は自尊心。講演では、子どもたちのよい行動をみつけ、その行動をほめ、やる気と努力を起こさせ、その繰り返しで習慣化し自尊心を高めることなどが紹介され、参加者は熱心にメモをとっていました。



## 土壌診断データと耕畜連携で新たな活路を

町担い手育成総合支援協議会(宮坂尚市朗会長)と町認定農業者会議(河村敏弘会長)による「町農業経営改善研修会」が3月16日、総合福祉センターで行われ、約50人の農業者が講師による講演と事例発表に耳を傾けました。肥料や飼料などの生産資材の高騰により逼迫している農業経営に対して、土壌診断データを活用した適切な施肥の重要性や耕種農家と畜産農家による耕畜連携による地域システムの可能性などが紹介されていました。



## 知恵とアイデアが結集 食の工夫展賑やかに

J Aとまこまい広域女性部厚真支部(齊藤育子支部長)が主催する「食の工夫展」が3月5日、総合福祉センターで行われテーブルいっぱい到手づくりの逸品が並べられました。開会式で齊藤支部長が「食品の安心安全や地産地消、食育など食に対する関心が高まっている。今年から名称を『趣味と工夫展』から『食の工夫展』に変えた第1回目。今日一日皆さんと楽しみたい」とあいさつ。米をテーマに農家の母さんの知恵とアイデアが結集した料理やおやつを来場者は興味深く見入り、試食していました。

## 北部地区の空を オジロワシ悠々と

3月上旬、幌内地区を中心にオジロワシ数羽が姿を見せ、地域の方々は悠々と空を滑空する姿に目を奪われていました。

オジロワシは、ユーラシアで繁殖し北海道には冬鳥として飛来。まれに留まり繁殖することもあるといい、全長90cm、羽を広げると約2mにも達する大型の鳥で、名前のおり尾が白いのも特徴の天然記念物。幌内地区に住む小納谷睦さんは「毎年この時期になると見かけるので毎年楽しみにしているんですよ」と話していました。



木から飛び立つオジロワシ

## 税のポスターで

## 松田さん(厚南中二年)入賞

北海道が行う第二十三回全道中学生の税をテーマとしたポスターで、厚南中学校二年生の松田亜弓さんが胆振支庁長に入賞し、三月五日に同校で苫小牧道税事務所長から賞状と盾が伝達されました。風景画を得意とする松田さんは、北海道の自然を背景に、税の大切さを表現。「今まで描いた絵の中で一番の出来。入賞して心からうれしく思います」と笑顔で話していました。

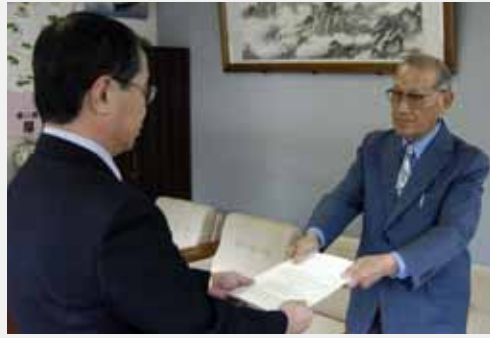


## 思いやりの心を育てる 人権教室中央小で

札幌法務局苫小牧支局が三月二十二日、中央小学校(刑部守敬校長)の四年生対象に人権教室を行い、児童たちは人権啓発のビデオを鑑賞し、意見交換しながらいじめ防止に対する意識や思いやりの気持ちを高めていきました。講師は、人権専門委員の實吉智子さんなどで、物語の中のいじめの被害者と加害者だけでなく傍観していた登場人物にも焦点をあて児童と話し合っていました。



# まちの話題 plus



古川副町長に答申する菅原会長

## 安心して暮らせる町を願い答申

町が町介護保険運営協議会（菅原治一会長・委員9人）に諮問していた第4期厚真町介護保険事業計画および第4期厚真町高齢者福祉計画について、同協議会で数度にわたり検討・協議を行った結果、答申がまとまり、3月31日菅原会長が役場を訪れ古川副町長に答申書を手渡しました。菅原会長は「保健と福祉が一体となり町民が安心して暮らすことができる福祉政策の実現に最善の努力をお願いします」と話し、古川副町長は「介護等を取り巻く厳しい状況は認識しています。この答申をふまえてさまざまな視点から検討・工夫していきたい」と応えていました。

**募集**  
**発掘事務補助員（嘱託職員）を募集します**  
 教育委員会では、次により平成21年度の発掘事務補助員を募集します。  
**■募集人数1人 ■年齢45歳以下**  
 （平成21年5月1日現在の満年齢）  
**■応募資格原則** 厚真町内に在住で普通自動車免許を有し、パソコンの操作に慣れている方  
**■勤務条件・勤務場所** 厚真町教育委員会（青少年センター内）・雇用期間／平成21年5月1日～平成21年8月28日・勤務日／土曜・日曜日、祝日を除く毎日および勤務を指示する日・勤務時間／午前8時30分～午後5時30分・賃金／月額135,600円（社会・雇用保険加入）  
**■勤務内容** 発掘作業に関わる支出伝票の起票や発掘作業員の各種保険手続きなどの事務  
**■応募方法** 履歴書に写真を貼り付け、教育委員会社会教育グループまで提出してください（郵送可）。  
**■応募期限** 4月20日（月）  
**■選考方法** 書類審査および面接選考。応募者がいない場合は、応募条件に関わらず任意採用する場合があります。  
**■応募・問い合わせ先**  
 教育委員会社会教育グループ  
 ①059-1601 厚真町京町165番地、☎27-2495

**募集**  
**田舎まつり事務臨時職員を募集します**  
 厚真町田舎まつり運営実行委員会では、次により事務臨時職員を募集します。  
**■募集人数1人 ■年齢60歳以下**  
 （平成21年5月11日現在の満年齢）  
**■勤務条件・勤務場所** 役場内田舎まつり運営実行委員会事務局・雇用期間／平成21年5月11日～平成21年6月30日・勤務日／土曜・日曜日、祝日を除く毎日および勤務を指示する日・勤務時間／午前8時30分～午後5時30分・賃金／時給730円  
**■応募資格** パソコン（ワード・エクセル）を使用する方  
**■応募方法** 履歴書に写真を貼り付け、厚真町田舎まつり運営実行委員会（役場産業経済課商工観光グループ）に提出してください（郵送可）。  
**■応募期限** 4月24日（金）  
**■選考方法** 面接または書類選考になりますので、後日、応募者に通知します。期限までに応募がない場合は、任意選考させていただきます。  
**■応募・問い合わせ先**  
 厚真町田舎まつり運営実行委員会【事務局/役場産業経済課商工観光グループ】  
 ①059-1692 厚真町京町120番地、☎27-2486

## 町職員の人事異動

※（ ）内は前職、Gはグループ  
 4月1日付けで町部局等の人事異動が発令されました。町長部局の組織体制の中で、産業経済課の農政グループが農林水産グループに、商工観光・林務水産グループが商工観光グループへとグループの見直しが行われました。

**厚真町人事**  
**▶異動（4月1日付）**▷上厚真支所長（町民課税務G主幹）高田芳和▷産業経済課参事（交流促進センター支配人）新飯田治▷建設課長（建設課上下水道G主幹）堀武志▷会計管理者（会計室主幹）中田匡▷町民課町民生活G主幹（生涯学習課学校教育G主幹）矢幅敏晴▷町民課税務G主幹（議会事務局主査）橋本欣哉▷保健福祉課福祉G主幹（産業経済課農政G主査）西野和博▷保健福祉課健康推進G主幹（保健福祉課主査）木戸知二▷保健福祉課子育て支援G主幹（同課福祉G主幹）松田敏彦▷まちづくり推進課企画調整G主幹（建設課土木G主幹）岩田善行▷まちづくり推進課事業推進G主幹（同課事業推進G主査）大坪秀幸▷産業経済課農林水産G主幹（保健福祉課健康推進G主幹）遠藤秀明▷建設課土木G主幹（同課土木G主査）真壁英明▷建設課上下水道G主幹（同課上下水道G主査）酒井精司▷会計室主幹（町民課税務G主査）沼田和男▷町民課税務G主査（交流促進センター副支配人）高安正▷まちづくり推進課事業推進（道派遣職員）川畑千▷産業経済課農林水産G主査（同課商工観光・林務水産G主査）

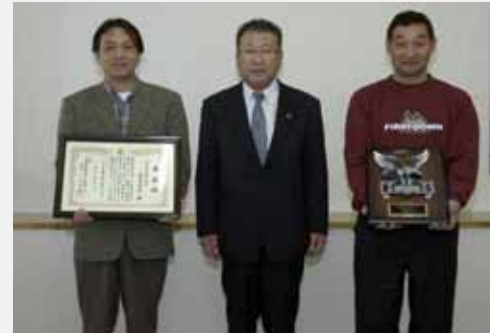
斎藤雪美▷建設課上下水道G主査（町民課町民生活G主査）佐伯智▷保健福祉課子育て支援G主任（同課福祉G主任）坪内真智子▷建設課上下水道G主任（産業経済課商工観光・林務水産G主任）宮本慎也▷建設課土木G主任（同課上下水道G主任）佐藤淳司▷町民課町民生活G主事（同課税務G主事）近藤奈々子▷産業経済課農林水産G主事兼農業委員会事務局主事（農業委員会事務局主事）藤岡隆志

**▶道派遣▷**中村真吾（産業経済課農政G主事）  
**▶新規採用（4月1日付）▷**町民課税務G主事 上田大輔▷保健福祉課福祉G主事 南部友基  
**▶退職（3月31日付）▷**遠藤賢一（産業経済課参事）▷長橋政徳（建設課長）▷宮澤正明（上厚真支所長）▷宮腰朝子（保健福祉課福祉G主任）

**厚真町議会人事**  
▷異動（4月1日付）▷議会事務局主査（町民課町民生活G主査）蛇池克広

**厚真町教育委員会人事**  
**▶異動（4月1日付）▷**生涯学習課長（会計管理者）佐藤好正▷生涯学習課学校教育G主幹（学校給食センター主幹）土居和一  
**▶退職（3月31日付）▷**紺屋勝美（生涯学習課長）

**厚真町農業委員会人事**  
**▶異動（4月1日付）▷**農業委員会事務局主任（保健福祉課福祉G主任）渡辺誠



笹野専務を囲む澤口仲二さん(左)と澤口隆さん

## 海難事故ゼロ9千日を達成し表彰

鶴川漁業協同組合厚真支所が、2月19日をもって海難事故ゼロ9千日を達成し、(社)北海道海防水救センターから3月11日、同支所で表彰されました。同漁協支所では、同センターがゼロ運動を始めて以来、約四半世紀にわたり海難事故による死者を一度も出しておらず、道内でも9千日の達成は厚真支所を含め8カ所で、胆振管内では初。伝達に訪れた笹野正専務理事は「この達成は、組合員やその家族、関係者が一丸となって達成できたもの。ゼロの日の継続を」と賞状と盾を伝達。澤口副組合長は「これからも気を引き締めていきたい」と話していました。

## 北海道石油共同備蓄(株)からAEDを寄贈

創立30周年を記念して北海道石油共同備蓄(株)から3月25日、自動体外式除細胞器（AED）2台を町と社会福祉協議会に寄贈していただきました。同北海道事業所の田中功夫所長が役場を訪れ「三本引きなどスポーツイベントが多い町なので、持ち運びしやすいものを町へ寄贈しますが、一度もこのAEDが使われないことを祈っています」と話し宮坂町長に贈呈。「大切に管理させていただきます」と町長はお礼の言葉を述べていました。寄贈していただいた可動型のAEDは、貸し出し用として役場に、もう1台は高齢者生活福祉センターに設置しました。



田中所長から町長へAEDが手渡される

## 事故がない町を願いかざり時計作製

本町の交通事故死ゼロの日1000日の達成を記念し、森田政一さん（84歳・宇隆）がかざり時計5台を作製し、町に2台寄贈していただきました。時計は、北海道を模った土台に時計をはめ込み、1000日達成のロゴ入り。10年ほど前から製作を始め、今まで作製した数は800台以上のほり、現在300台の注文を抱えているといい、時計づくりは森田さんの健康の秘訣ともいえます。森田さんは「以前、交通指導員をやっていたので、1000日達成は感慨深い。交通事故が無い町になるよう願いを込めて作ったんだよ」といきいきとした表情で話していました。



かざり時計を作製した森田政一さん

## 国民の生命と財産を守る崇高な任務へ

自衛隊父兄会厚真支部（澤田征春会長）による自衛隊入隊激励会が3月19日、総合福祉センターで行われました。

本町から入隊するのは、白田浩章さん（新町）と大場雄剛さん（表町）の2人で、自衛隊札幌地方協力本部副部長、町長、父兄会厚真支部員などの皆さんが、国民の生命と財産を守る崇高な志をもって入隊する2人の門出を見守りました。澤田会長が「頑張って立派な自衛官になってください」と激励し、入隊者を代表して澤田さんが「自衛官としての誇りを胸に若さと希望を持って旅立ちます」と入隊への決意を力強く述べていました。



澤田会長のあいさつに耳を傾ける入隊する2人